

晴天の下で間伐とみかん狩りを!

●浦高百年の森・初冬の森林整備の一日!



〔少しだけ色を残したモミジ〕



〔体験の森での開会式〕



〔開会式参加者、120名〕

今日 29 日(日)は、11 年目に入った「浦高百年の森」の初冬の森林整備でした。午前 9 時 40 分、寄居町風布の森に到着しました。今年 は例年よりも 1 週間遅い整備ということと、夏の暑さのせいかなを留める紅葉も少ない気がしました。

10 時、開会式では玉熊英一・浦高百年の森運営委員会委員長のご挨拶。「皆さん、おはようございます。今年 3 回目の森林整備ですが、今日は良い天気、今日の作業では汗をかくかも知れません。森

も 10 年が過ぎ、幹も太く大きく育っています。整備内容は杉林等の枝払いや枯れ枝の除去などの作業ですので怪我のないようお願いします。」

準備運動をしてそれぞれのグループ毎の作業に分かれました。私たち若手(…?) 壮年組は、杉林の間伐です。埼玉県農林公社の方から梯子に登った高さ(約 1.5m)での間伐作業の指導を受けて挑戦です。



〔間伐の指導を受ける〕



各自にヘルメット、ゴーグル、ノコギリ、安全帯、ムカデ梯子が渡され、7~8m 間隔に広がって下枝を落としていきます。注意点は、

- ①ある程度太さのある木の枝を落とすこと。
- ②ハシゴは山側に掛け、地面にしっかりと根入れしてチェーンとロープで木に固定すること。
- ③木に安全帯のロープを掛けて作業をすること。
- ④切る枝よりも高い位置に手を掛けること。

などです。さあ、作業開始です。

約 1 時間だと思のですが、各自 7~8 本の枝打ち作業を無事に行うことができました。ずいぶんと見通しが良くなりました。この枝打ちは、無節の良質材を作ること、林の中に光が入るようにするという効果があるそうです。

11 時 30 分、作業を終えて昼食です。今回は藤野事務局長たちが用意してくださった“けんちん汁”が振る舞われました。12 時 45 分、閉会式で終了となりました。春日部地区浦高会からは 4 人と 1 家族が参加しました。

午後は麓のみかん園でみかん狩りを楽しみました。

午後 2 時 30 分、作業を終えて昼食です。今回は藤野事務局長たちが用意してくださった“けんちん汁”が振る舞われました。12 時 45 分、閉会式で終了となりました。春日部地区浦高会からは 4 人と 1 家族が参加しました。

◆風布のみかん
【寄居町観光協会】

寄居町風布地区は、秩父鉄道波久礼駅から風布川



〔甘さ確かめてもぎ取る〕

沿いに歩いて約 1 時間の小さな盆地で、日本におけるみかん栽培の北限地域の一つとされています。風布みかん栽培は天正年間(1573 ~ 92)まで遡り、400

年以上の歴史を持ちます。10 月中旬から 12 月中旬までのみかん狩りが楽しめます。



〔枝打ち作業の様子〕



〔枝打ちの終わった杉林〕



〔春日部地区浦高会の参加者〕